

同刻家庭祈り会

2022年9月21日(水)19:15~各家庭で

☆祈り会プログラム

- ・ 賛美 ♪天の窓

*教会HP「同刻家庭祈り会9月21日」から一緒に賛美できます。

- ・ 祈り *すべての祈りの場に主の臨在があふれ、聖霊様が注がれますように。

- ・ 聖書拝読 ローマ人への手紙6章

*聖書を音読して、主のみこころを教えてください。

- ・ 御言葉の分かち合い

*教えられたことを互いに分かち合ひましょう！恵みが2倍3倍とあふれます。
一人で祈り会をしている方は、祈りのノートに書き残すことをお勧めします！

- ・ 祈祷

- ・ 主の祈り

*すべての栄光を主に。

☆「天の窓」

1.もとめます主よ 御前に進み 心注いで
もとめます主よ 知恵と力を 救いの業を
聖霊の炎 天からの炎
主よ わたしの 心熱く 燃やしたまえ

*大きく 天の窓が開き あふれる 恵みが降り注ぐ
輝け 主イエスの栄光とわに この地を生かしたまえ

2.もとめます主よ あなたの国と あなたの心
もとめます主よ あなたの声と 夢と幻
もとめます主よ しるしと不思議 回復の業を
もとめます主よ 日本の救い リバイバルを

*くりかえし

*くりかえし

☆クリスチャンの先輩の言葉

リック・ウオレン 人生を導く5つの目的から

「礼拝の本質」

あなた自身を神に差し出さなさい。・・・
正しい目的のために用いていただくために、
正しい目的のために用いていただくために、
自分のすべてを神に明け渡さなさい。

ローマ人への手紙 6:13

礼拝の本質は降伏にあります。・・・

ローマ人への手紙において、パウロは11章にもわたって神の驚くべき恵みについて語った後、礼拝を通して自分の人生をすべて神に明け渡すように勧めています。「そういうわけですから、友よ。私たちに対する神の大いなる憐みのゆえに、あなたがたに勧めます。・・・あなたがた自身を、神の働きのために、神に喜ばれる生きた供え物としてささげなさい。これこそ、あなたがたがささげるべき真の礼拝です。」

神に喜ばれる礼拝とは、自分自身を完全に神にささげることなのです。この箇所最初と最後の言葉は、同じささげるという言葉なのにお気づきでしょうか。

自分自身を神にささげるということが、礼拝のすべてなのです。

個人的に降伏するというこの行為は、様々な呼び方がなされています。たとえば、聖別される、イエス・キリストを自分の主とする、自分の十字架を背負う、自分自身に死ぬ、あるいは聖書に明け渡すなどです。重要なことはそれが何と呼ばれているかではなく、それをいかに実行するかです。神は、あなたが人生のすべてを明け渡すことを願っておられます。95パーセントでは十分ではありません。

私たちが神に降伏するのを妨げるものが三つあります。それは、恐れ、プライド、そして混乱です。私たちは、神がどれほど私たちを愛して下さっているのかが分からず、自分で自分の人生をコントロールしたいという欲求にかられます。私たちは降伏の意味を取り違えているのです。

自分自身を神にささげるということが、礼拝のすべてなのです。

☆祈りの課題

※足りないところを補ってお祈りください

①御言葉から導かれた事をお祈りしましょう。

②イスラエルの祝福と平和のために

あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。

創世記 12 : 3a

彼らがわたしの名でイスラエル人のために祈るなら、わたしは彼らを祝福しよう。

民数記 6:27

- ・イスラエルが更に祝福され、霊的なリバイバルがあらわされるように
- ・政治的な安定、イスラエルに平和がもたらされるように

③地上に御国があらわされるように

御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。

マタイ 6:10

- ・人々が戦争から解放され、神様から来る平和がおとずれるように
- ・世界的な自然災害に苦しむ人々に平安と救いがあらわされるように
- ・神様の支配がこの地上にありますように
- ・コロナの収束が成されるように

④日本のリバイバルのために

弟子たちは、ますます驚いて互いに言った。「それでは、だれが救われることができるのだろうか。」

イエスは、彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことですが、神は、そうではありません。どんなことでも、神にはできるのです。マルコ 10:26,27

- ・ 7800 の教会と 50 万人のクリスチャンに聖霊の火が注がれ、
リバイバルが起こるように
- ・ 岸田総理を始め、政治家が正しいリーダーシップを発揮出来るように
- ・ 日本の伝道に御言葉の力とそれに伴う癒し奇跡があらわされるように

⑤土崎グローリアチャペルの働きのために

- ・ 祈り・みことば・聖霊様に満たされるように
- ・ 牧師夫妻と家族の働きのために
- ・ 家族・友人・知人の伝道に励むように
- ・ 全会員が再臨を熱望し、聖霊の火が点火し、信仰が燃えるように